最新改訂：2011年 5月26日
印　　刷：2011年 5月26日

1．製品及び会社情報

製 品 名 ： FOODLUBE**食品機械用 糖分解除去潤滑スプレー**

会 社 名 ： **株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ＆フルイズ ジャパン**
住　所 ： **大阪府吹田市江の木町30-32**
担当部門： **品質管理部**
電　話 ： **06-6330-7118(代)**
F A X ： **06-6330-7083**

2．危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体		**：区分外**
急性毒性	**経口**	**：分類できない**
	経皮	**：分類できない**
	吸入（気体）	**：分類できない**
	吸入（蒸気）	**：分類できない**
	吸入（粉塵およびミスト）	**：分類対象外**
皮膚刺激性／腐食性		**：分類できない**
眼損傷性／刺激性		**：分類できない**
呼吸器感作性		**：分類できない**
皮膚感作性		**：分類できない**
生殖細胞変異原性		**：分類できない**
発がん性		**：分類できない**
生殖毒性		**：分類できない**
授乳に関する影響		**：分類できない**
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）		**：分類できない**
		：分類できない
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）		**：分類できない**
吸引性呼吸器有害性		**：分類できない**
水生環境有害性（急性）		**：分類できない**
水生環境有害性（慢性）		**：分類できない**

絵表示又はシンボル **：該当なし**

注意喚起語 **：該当なし**

危険有害性情報 **：該当なし**

注意書き

- **火気注意**
- **熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。**
- **火災の場合には、消火に、アルコール耐性泡、二酸化炭素、ドライケミカルを使用すること。**
- **使用前に取扱説明書を入手すること。**
- **全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。**
- **取扱う際に、適切な保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。**
- **容器を密閉しておくこと。**

・皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類を全て取り除くこと。皮膚を流水もしくはシャワーで洗うこと。
・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物
化学名又は一般名 ： 潤滑油

化学品名	別名	含有量(%)※	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR法
ﾐﾈﾗﾙｵｲﾙ		ー	ー	ー	ー

※法規制のあるものについて記載

4．応急処置

吸入した場合： 被災者を空気の新鮮な場所に移動させ、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合： 直ちに大量の水と石鹸で洗い流す。
目に入った場合： 直ちに大量の流水で15分以上洗浄する。
飲み込んだ場合： 水で口をゆすぐ。

5．火災時の措置

消火剤： アルコール耐性泡、二酸化炭素、ドライケミカル（霧状の水：容器冷却用）
使ってはならない消火剤： 水（炎を拡散させる可能性がある）
火災時の特有の危険有害性： 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガスを発生する。
特定の消火方法： 霧状の水で容器を冷やし、圧力を下げる。排水が下水や側溝に流れ込まないようにする。
消火を行う者の保護： 自給式の呼吸装備を着用すること。皮膚、眼を守る防護衣を着用すること。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
保護具を着用していない人を付近から避難させる。「8、曝露防止及び保護措置」を参照すること。
環境に対する注意事項：
下水や排水溝への流入を防ぐ。堤防を築いて漏出物を封じ込める。
封じ込め及び浄化の方法・機材：
火花を発生しない機器を使用する。乾燥砂、土に吸着させ、密閉容器に回収し、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。
二次災害の防止策：
付近の着火源となる物を取り除く。

7．取り扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策： 取り扱いの際は使用上の注意、ラベルの注意書きに従うこと。
注意事項： 直接接触を避ける。

保管 適切な保管条件： 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管する。高温、火花、直火等の発火源から離して保管する。
安全な容器包装材料：現行容器のまま保管

8．曝露防止及び保護措置

設備対策： 作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。
取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。

保護具： 蒸気やスプレーが飛散する場合は、マスクを着用する。保護手袋、側板付き安全眼鏡、保護衣を着用すること。

9．物理的及び化学的性質

外観 **形状：**液状
色：白濁
臭い **：**微量
pH：8-9
融点／凝固点：＜ 0℃
沸点、初留点と沸騰範囲：＞100℃
引火点：＞150℃
自然発火温度（発火点）：＞200℃
燃焼又は爆発範囲の上限／下限：
蒸気圧：N/A
蒸気密度：N/A
比重：1.0
溶解性：水に不溶
分解温度：N/A

10．安定性及び反応性

安定性：常温・常圧、密閉保管であれば安定。

危険有害反応可能性：

避けるべき条件： 直射日光、高温、火花及び直火、混触禁止物質。

混触禁止物質： 強酸化剤および強還元剤 。

危険有害な分解生成物： 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガスを発生する。

11．有害性情報

急性毒性 **経口：** LD_{50}(ﾗｯﾄ)； N/A
吸入： LC_{50}(ﾗｯﾄ)； N/A
経皮： LC_{50}(ｳｻｷﾞ)； N/A

皮膚腐食性／刺激性：
接触部位に、軽度の刺激、発赤を引き起こす場合がある。

呼吸器感作性／皮膚感作性：
特に刺激等の症状は無いが、体質により皮膚や呼吸器等を刺激する場合がある。

眼に対する重篤な損傷／刺激性：
刺激、発赤、流涙を引き起こす場合がある。

経口毒性：
口腔、咽喉に痛み、発赤を引き起こす場合がある。

12. 環境影響情報

急性水生毒性：分類できない
慢性水生毒性：分類できない
残留性／分解性：混合物としてデータなし
生体蓄積性：混合物としてデータなし

13. 廃棄上の注意

「7.取扱い及び保管上の注意」の記載事項による。
廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。

- 焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
- 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制 陸上（RID/ADR）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。
海上（IMDGｺｰﾄﾞ）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。
航空（ICAO-TI/IATA-DGR）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。
国連分類：該当せず
国連番号：－

15.適用法令

消防法 **：危険物第 4 類第 3 石油類（非水溶性）**

16.その他

本製品に関する有害性等の文献はありません。従って、その評価は原料メーカーからの資料を基に安全に取り扱う為の留意点としてまとめたものであり、データーは充分ではありませんので、取扱には充分ご注意をお願い致します。

参考文献 ：法規制物質リスト（日本ケミカルデータベース）
：ケミカルデータベース（日本ケミカルデータベース）